

報告会 “とりた かなえの 私の見た「アンゴラ」” を開催しました …56名が参加…

1月10日、仙台市市民活動サポートセンター・セミナーホールで、昨年10月に実施された「ユニセフ・アンゴラ・スタディツアー」の報告会がありました。日本生協連が全国の生協で行



っている「CO-OP コアノン スマイルスクール・プロジェクト」で支援しているアンゴラ共和国の子どもたちの置かれている状況や教育環境、ユニセフの支援している内容などについて視察したことの報告でした。内戦が約30年も続いたアンゴラはその間、教育がなされなかったため格差社会を生み出し、その格差を埋めるのが教育であることや、支援の成果が表れてくるまでには相当の時間がかかると実感したスタディツアーだったことが報告されました。(みやぎ生協 鳥田加奈枝理事)



葦の芽学園子育て支援センター落成式(気仙沼)

1月19日、アグネス・チャン日本ユニセフ協会大使も参加しての落成式が行われました。式を祝うかのよう空はきれいに晴れ渡り、園児や保護者、園の関係者や建設に関わった大勢の方々が落成をお祝いしました。アグネス大使からユニセフの「ちっちゃな図書館」の絵本セットが子どもたちにプレゼントされ、子どもたちからはお礼に歌とメッセージが披露されました。きれいな歌声でした。



絵本のプレゼント

親子で制作したプレートが玄関の壁に埋め込まれています。その前には、柔らかい炎の「まきストーブ」がすてきな雰囲気を与えています。元気な子どもたちの笑顔が、被災地の復興の後押しをしてくれることでしょう。

亘理町児童福祉施設落成式(旧吉田保育所)

1月20日、亘理町の施設として完成し、齋藤町長はじめ町の関係者、多くの保護者が参加しました。木造平屋建ての木ぬくもりあふれる建物は、葦の芽学園の建物とともに、設計管理：薩田建築スタジオ、施行：小野良組(気仙沼市)らの尽力で完成しました。外壁は津波で被災したアカマツ・クロマツを利用し、震災の記憶を後世に伝えます。アグネス大使が手話を交えて「幸せの花」を歌ってお祝いし、園児からは元気な歌とお礼の



©日本ユニセフ協会



言葉がありました。2歳児は、震災のとき赤ちゃんでした。もう2年になるのですね。

「シリア緊急募金」へのご協力をお願い …1月16日から受付を開始しました…

激しさを増す戦闘から、国外避難する人々の波が止まらないシリア。シリアや周辺の国々は、寒波や大雨、雪になどの悪天候で、非常に厳しい状況に陥っています。この紛争の影響を受けている子どもの数は、シリア国内外で、確認されているだけでもおよそ210万人。厳しい寒さの中で、子どもたちの安全と命を守る支援が急がれています。ユニセフは、衣類・防寒具・衛生用品の配布や予防接種、トイレの設置、安全な水の提供などに加え、故郷を追われた子どもたちへの心のケアや教育の支援も行っています。ユニセフは国際社会へ支援を呼びかけています。みなさまのお力添えをよろしくお願いいたします。

シリア緊急募金 郵便局(ゆうちょ銀行) 振替口座：00190-5-31000 (窓口からは送金手数料は免除されます)
口座名義：公益財団法人日本ユニセフ協会 通信欄に「K1-040 宮城県ユニセフ協会 シリア」と記入してください

宮城県ユニセフ協会 〒981-3194 仙台市泉区八乙女4-2-2 みやぎ生協ウイズ1F

事務所：月曜日～金曜日

Tel 022-218-5358 Fax 022-218-5945 E-mail sn.municef_miyagi@todock.jp

10:00～17:00

新しい情報はホームページが便利です <http://www.unicef-miyagi.gr.jp>

上記以外 090-7339-5068(五十嵐栄子)